

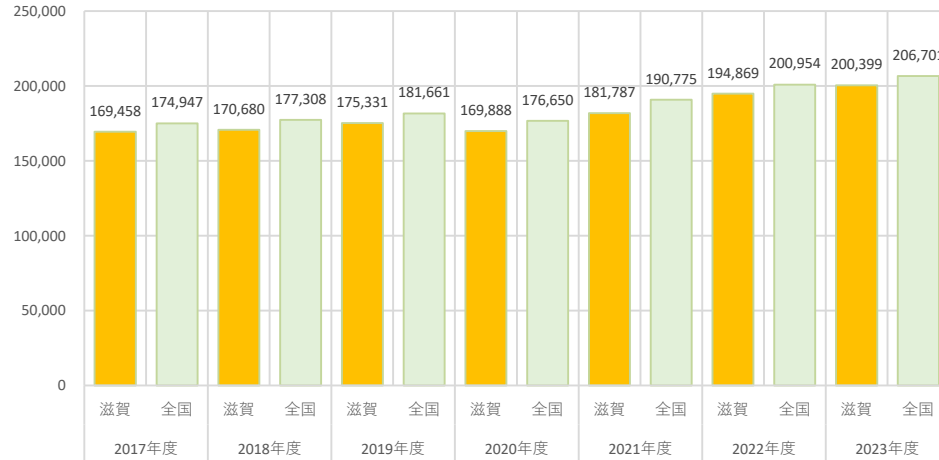
滋賀支部の医療費の動向

診療種別一人当たり医療費の全国比較

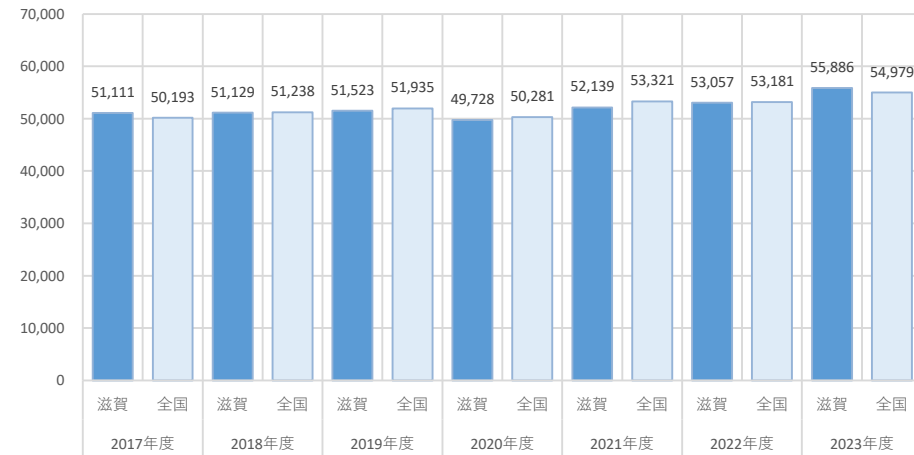
(年齢調整後)

○一人当たり医療費は、滋賀支部・全国ともに上昇傾向にあるが、滋賀支部は全国平均より低い値で推移している。
○2020年度はコロナによる受診控えで減少したものの、2021年度以降は上昇しており、特に外来医療費の伸びが大きくなっている。

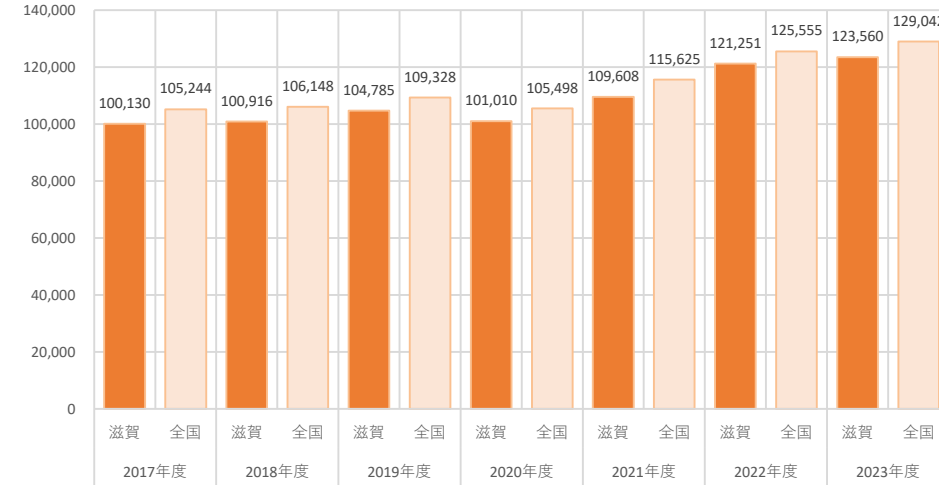
(年齢調整後) 診療種別一人当たり医療費(合計)の全国比較



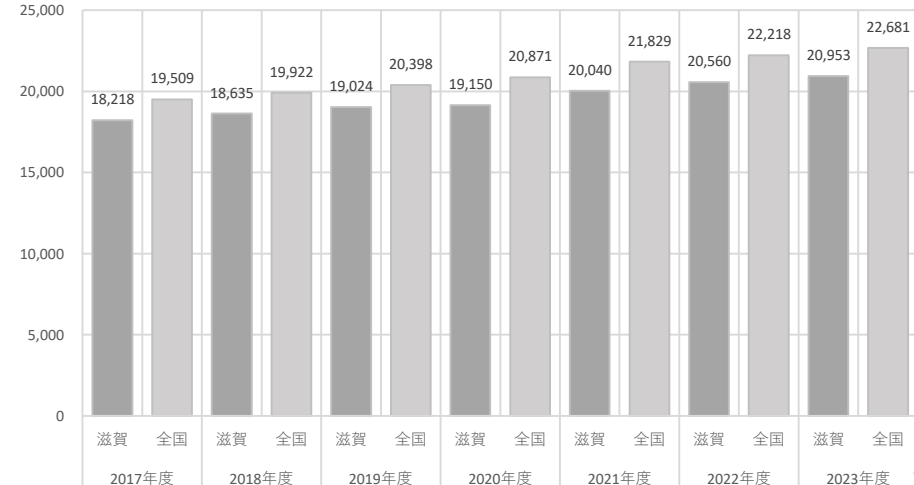
(年齢調整後) 診療種別一人当たり医療費(入院)の全国比較



(年齢調整後) 診療種別一人当たり医療費(入院外)の全国比較



(年齢調整後) 診療種別一人当たり医療費(歯科)の全国比較

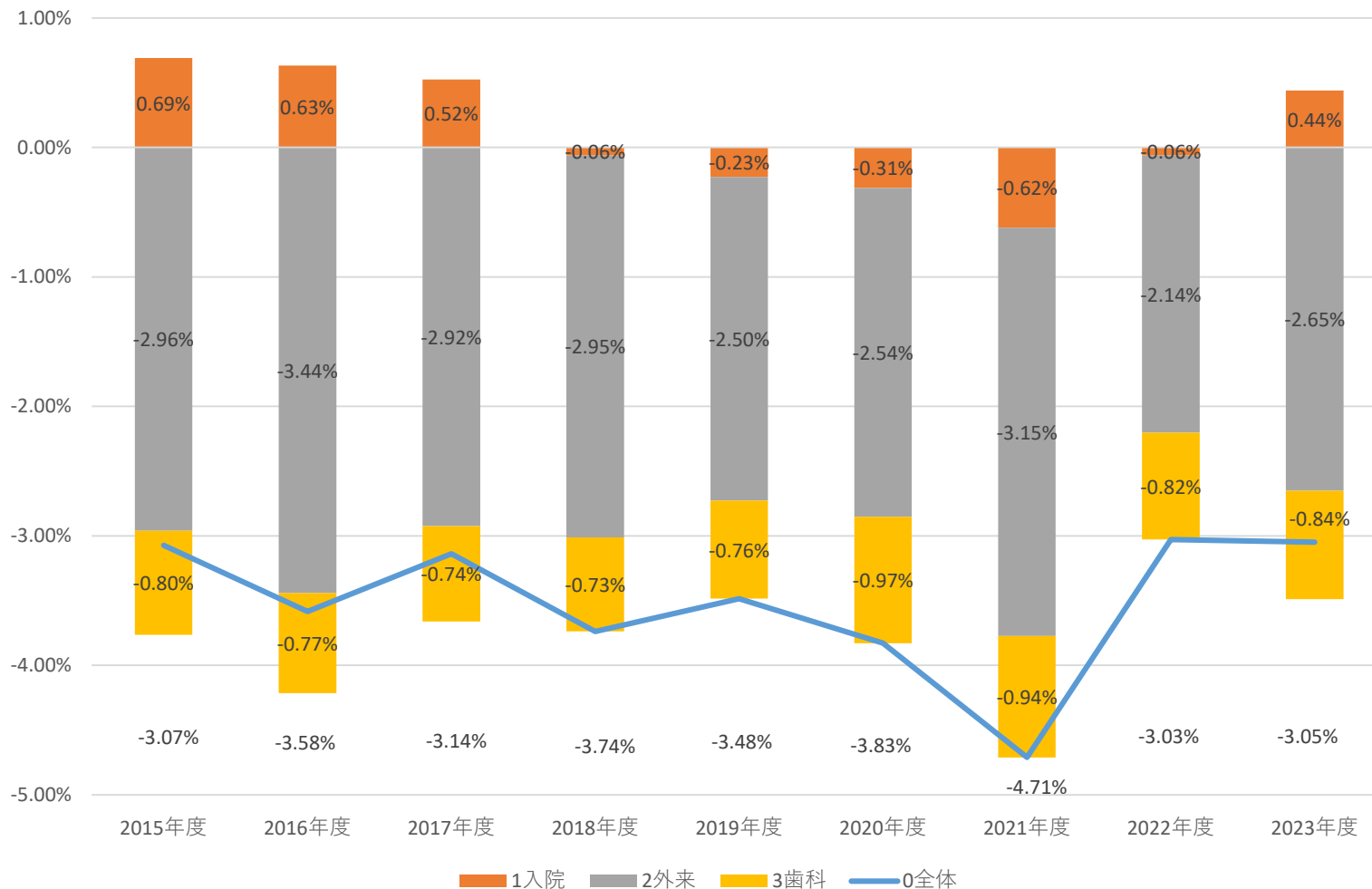


※入院外には調剤を含む

一人当たり医療費の全国平均からの乖離率の診療種別寄与度

(年齢調整後)

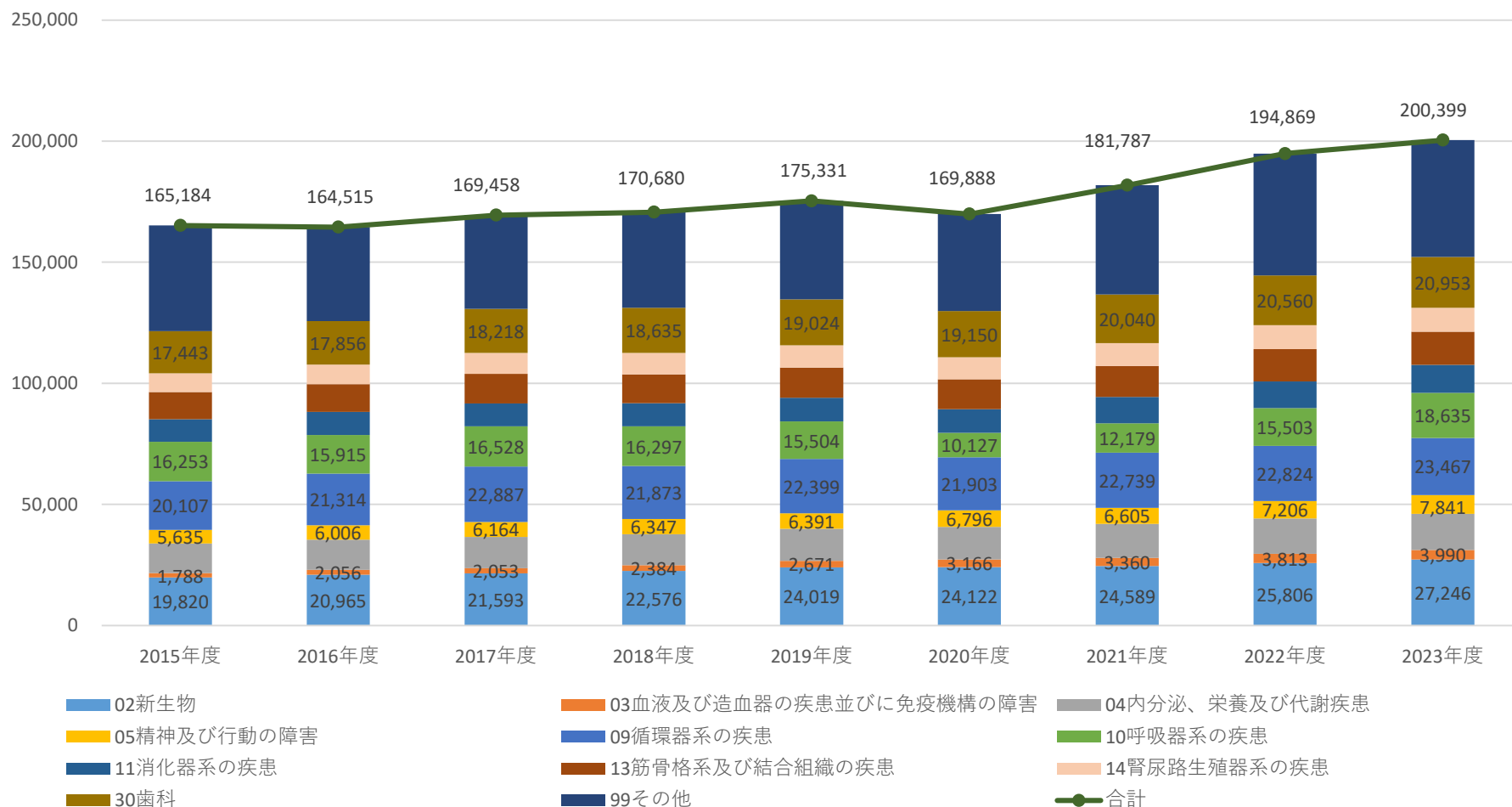
- 入院医療費の寄与度が2023年度に+0.44%と6年振りにプラスとなっている。
- 外来医療費がマイナスに大きく寄与しており、2023年度はコロナ前の2019年度と同水準になっている。



疾病大分類別一人当たり医療費

(年齢調整後)

○1人当たり医療費は「新生物」が最も高く、次いで「循環器系の疾患」、「歯科」、「呼吸器系の疾患」が高い。
○「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」がコロナ禍以降増加している。



一人当たり医療費の全国平均からの乖離率の疾病大分類別寄与度（年齢調整後）

- 「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」の寄与度が大きくなっている。
- 「精神及び行動の障害」の寄与度が2023年度はプラスになっている。
- 「呼吸器系の疾患」の寄与度のマイナス幅が最も大きい。

